

<校訓>
高志共生

大庄中学校
H26年度第10号
(H26.6.20・金)

大庄中通信

全力でテスト勉強に取り組もう

1学期の期末テスト5日前です。期日と時間割は

25日(水) ①国語 ②音・美 ③技家

26日(木) ①数学 ②社会 ③保健

27日(金) ①英語 ②理科 ③体育です。

そこで、昨年と一昨年の学校だよりでお知らせした「テスト勉強のヒント」

の要点と追加をお知らせします。しっかりと勉強してテストに臨んでください。



(1) 計画を立ててテスト勉強に取り組む

中学校の定期テストは、小学校の時のような単元が終わったあとのテストと違って、2ヶ月以上前に習ったことも範囲に入ってきます。ですから、計画的・集中的にテストのための勉強をする必要があります。個人差はありますが、2週間前～1週間前から計画を立ててテスト勉強を行う必要があります。時間のある休日やテストの1日目と2日目の午後を有効に使うことも大切です。

(2) 理解する→覚える→問題を解いてみる

勉強は、暗記するだけではなく、常に「なぜそうなるのか」を考えることが大切です。理由がわかって「なるほど」と納得して覚えたものは、単純な暗記と違って忘れにくくなります。特に中学生から高校生にかけては、理解し納得する学習は非常に効果のある勉強法だそうです。丸暗記は単純でつまらない作業ですが、理解し納得する学習で結果が出ると、達成感があって勉強の面白さを感じるようになります。

授業中の「わかった」とテストで「正解が書ける」とは別物です。授業でわかったことをテストの時に正解が書けるようにするのがテスト勉強です。授業や教科書の内容を整理して「理解する」ことがテスト勉強の第1段階、自分に合った方法で限られた時間を有効に使って必要なことを「覚える」のが第2段階、そして、「問題を解いて」みて、答えを見ないで自力で正解が書けるか確認し、できなければ解けるようにするのが第3段階です。

(3) ノートの書き写しや問題の()埋めだけでは、時間のムダ

ノートを書き写すだけや問題集やプリントの答えを埋めるだけの勉強は、たくさんの時間をかけても、ほとんど効果がありません。ノートを書き写すだけなら、考えなくてもできます。作業と記憶は違います。書き写しは作業であり記憶ではありません。記憶をするには、授業で先生の話を中心して聞く、問題を解くというように、頭を使うことが大切です。音楽を聴きながらやテレビをかけたままの勉強も「作業」状態になり、時間のムダです。

(4) テスト勉強の手順

①要点の整理・確認・まとめをする

テスト範囲が発表されて最初に取りかかるべきことは、各教科の要点の整理・確認・まとめ・暗記といった勉強

です。このとき、マーカーなどをたっぷり使ってキレイなノートを作ることだけに時間をかけていたり、ノートを書き写すだけの勉強はほとんど効果がありません。大切なことは、自分は、どこがわかっていて、逆にどこがわかっていないのかを確認し、わかっていることを増やすことです。その中で、覚えるべきことがあれば、覚えるまで繰り返すという必要性も出てきますが、これをあまり早い時期にやり過ぎてテスト当日に忘れてしまっはけませんので、暗記に取り組む時期・タイミングを考える必要があります。暗記の多い実技教科は、テスト前日に集中的に勉強するのも効果的です。

②次に問題練習に取り組む

テスト勉強では、できない問題をできる問題に変えることも不可欠です。教科書を読んだり、ノートに書き写す勉強だけでは、正解を書けるようになりません。ですから、効果的な方法で問題練習をする必要があります。もし、正解が書けない人は(ア)問題の解説や教科書を見て、問題の解き方を考えてみる、(イ)家の人、学校の先生、友達などに解き方を聞く、(ウ)問題の解き方がわかったら、要点やコツをノートに書き残しておく、といった方法を試してみましょう。ただし、問題練習は、1回だけでは、不十分です。1回目の問題練習は「自分の解けない問題を見つける」ことが目的です。次に、「たまたま正解が書けた問題や不正解の問題をできるようにする」のが2回目の問題練習で、2回目で「できた」と思った問題を「本当に正解が書けるか確認する」のが3回目の問題練習です。

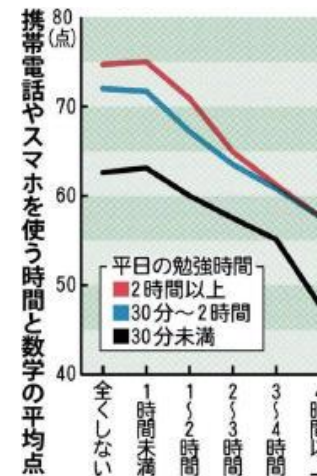
(ア)教科書やノートを見ている(ながめている)だけの勉強、(イ)できそうな問題はやらない(とぼす)勉強、(ウ)できる問題だけ解いて、わからない問題はやらないという勉強、などは点数につながりません。先生が授業で強調したことを確認しながら、意味のあるやり方で「問題を解く」ことが欠かせません。

(5) 出題の傾向をつかみ対策を立てる

テストでは、出題傾向をつかみ、対策を立てることも有効です。2・3年生の人は、テスト問題の傾向やパターンがわかっているはずですし、どの先生も、「ここが大事だから」とか「ここはテストに出すから」とか「このプリントから出すから」といったことを授業で話してくれます。教科書や問題集を初めから順番にやるのではなく、大事どころやまだ理解できていないことを優先的に勉強するのがテスト勉強のコツです。1年生は、初めての定期テストですから、過去の出題傾向をつかむことはむづかしいでしょうが、3年間の中で、この方法が使えるようになると効果的です。

(6) 長スマホ・長時間のゲームはダメ

先日、仙台市教委と東北大学による仙台市内の中学生約2万4000人を対象に実施した生活・学習実態調査の報告が報道されていました。その報告によりますと、家庭学習を2時間以上しているグループで、携帯電話の利用を1時間未満にとどめている生徒の平均点は75.0点なのに対し、利用が4時間以上は57.7点と17.3点の開きがあり、ゲームでも1時間未満が74.1点、4時間以上が59.1点と大きな差が出たということです。家庭学習が30分未満のグループについても、携帯電話を4時間以上利用する生徒の平均点は47.8点で、1時間未満の63.1点を大幅に下回り、ゲームも1時間未満が62.4点、4時間以上が50.4点と同じ傾向が見られたそうです。長時間のスマホやゲームはダメです。



(文責:校長 福井 隆夫)